

創立50周年に向けた特集企画です。  
学園の歴史やエピソード、記念事業や後援会活動など  
「50周年カウントダウン」のなかで、お知らせしてまい  
ります。ご期待ください!

# 50周年カウントダウン

## 私の新人時代 ~渡辺部長先生に聞きました~

昭和63年、小学校3年4組（小学校自閉児クラス）の担任として教員生活をスタートさせていただきました。満面の笑みでキヨ先生は、いつも子どもたちに声をかけてくださいました。子どもたちへの言葉は1年目の教員である私にもパワーを与えていただいたことを今でも覚えています。ボストンと日本を行き来され、ハードな日々を送っていたにもかかわらず、あのパワーあふれる姿は、私の手本となっています。

2年目以降、高等専修学校に異動し、現在に至っています。社会で生き抜く力をいかに育てていくか、無我夢中で生徒と向き合っていたように思います。写真は、卒業生スキー旅行（奥日光）の時のものです。一緒に写っている卒業生に私は育てられたのだと感謝しています。

あれから26年。来年度私が担任をしていた卒業生のお子さんが高等専修学校に入学することになりました。東の教育を親子で受けさせていただくことに感謝しつつ、その期待に応えるべく気持ち新たにしているところです。

高等専修学校 校長代行・進路指導部長 渡辺正司



**ボストン東スクール  
エントラーパーティー**

## 編集後記

編集会議、それは夜の帳が下りた、某白木屋で開催されるお父さん達の意抜き？いやいや、皆様の連合後援会だよりの為の真剣な会議の場です。モチロン、編集方針が決まった後は、今後の企画、あるいは悩みなどが、話題になる飲み会と化すのですが…。

先日編集会議後、編集委員の1氏が経営する会社で、新しいスマートフォンの開発をされ、ご披露してもらいました。スマートフォンの撮影機能を使って、絵を画面に映すと、データベースに自動的に検索がかかり、絵が魔法の様に動画に変わり、説明が流れる優れものです。

編集会議、奥が深いです。

### ●編集委員会（編集スタッフ）

高等専修 森本 賴子	山莊 陽子
中学校 飯盛 久美子	高田 ひろみ
小学校 石原 雄弥	木幡 紗子
幼稚園 太田 瑞恵	竹中 雅子
高等専修 松田 直基	大根 敬
中学校 斎藤 良	家住 隆士
小学校 松井 幹和	青柳 博行
	内藤 忠男



発行：武蔵野東学園連合後援会だより編集委員会 第55号 平成25年3月6日発行



# 武蔵野東学園 連合後援会だより



今年度の最終号は、発表会と卒園・卒業に関する思い出が満載。四月からの一年を振り返るとあっと言う間でした。皆様、一年間ご愛読いただきましてありがとうございました。来年度も宜しくお願い致します

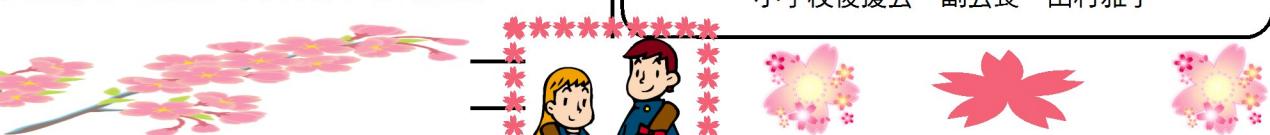
## 卒業にあたって

いよいよ子どもたちの巣立ちの時がやってまいりました。今、子どもたちが元気に過ごしている傍らで残り少ない日々をかみしめながら卒園の準備を進めています。

子どもたちの笑顔のために自分たちに何ができるのか試行錯誤の日々ではありましたが、3年間の後援会活動を通じ人と人との絆がどれほど大切なものであるかを改めて学ばせて頂きました。幼稚園生活を楽しんでこられたのもいつでも温かく見守って下さった先生方、五役の仲間や役員の皆様、保護者の皆様の惜しみないお力添えに支えられ助けられたからこそでした。

縁あって同じ時期を過ごせたことに感謝の念を抱きつつ、新たな一步を踏み出してまいります。本当に有難うございました。

幼稚園後援会 副会長 天野英理 辻端裕美



東学園に出会って、はや15年が経ちました。幼稚園からの東学園ならではの教育の刺激は私ども3人の、どの子どものときも感じてきました。

それぞれの個性のある子どものちょうどいい居場所が必ずあります。時には悩んで出口を見失いそうになったときでも先生方にバックアップしていただき、心が軽くなったことも少なくありませんでした。重みのあるたくさんの愛情と教育を財産として次女が東学園を巣立っていきます。

また私も微力ながら後援会のお手伝いを8年間させていただきました。その8年間に出会えたたくさんの役員さんたちと過ごした時間も親としての私を大きくしてくださいました。心より感謝申し上げます。

長男が卒業するまであと2年ありますが、残された学園生活での新たな刺激をたっぷり吸収したいと思います。東学園の益々のご発展を願っております。

中学校後援会 副会長 野内 陽子

「私、この小学校に通うことにしたよ。楽しかったよ。ジュースが出たんだよ。」娘は、満面の笑みで入試会場から出てきました。主人と二人で精一杯の面接を終えた私たちは、祈るような気持ちで翌日の結果を待ちました。

あれから6年。娘は東小学校が大好きで、とても楽しそうに休むことなく通っています。

私の3年間の後援会活動は、不安と緊張と感動の中でスタートしました。学校に行くたびに先生方がどれほど子どもたちに情熱を注いでくださっているのかを深く感じることが出来ました。子どもたちの一生懸命な姿、元気な笑顔も直接感じることが出来ました。これらは、私の母親としての人生の中でもかけがえのない経験となり私たち家族のこれからを支える宝物となりました。

足りない私を温かく見守り、励まし、導いてくださった先生方、保護者の皆様には、心から感謝致しております。

小学校後援会 副会長 田村雅子



息子が東幼稚園に入園させて頂いてから、早くも14年が過ぎようとしています。幼稚園や小学校の頃は泣いてばかりいた息子が、ここまで成長させて頂いたのも、東学園の先生方の熱心なご指導のおかげだと感謝しております。また、混合教育という環境の中で優しい友達に恵まれ、息子にとっては、かけがえのない時間を過ごせたと思います。

高専に入学してから、後援会の五役を引き受ける事となり不安な毎日でしたが、私も息子同様に皆様に助けて頂き、楽しく活動させていただきました。その活動の中で、多くの方々と知り合うことができ、貴重な経験となりました。先生方、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

末筆ながら、今後の東学園の益々のご発展をお祈り申し上げます。

高等専修学校後援会 副会長 小澤恵美子

# すてきな発表会 がんばったね



この度の発表会は、年長（治）の息子は2回目、年少（健）の娘にとっては初めての参加となりました。昨年の息子は「いつもと違う場所」に帰りましたが、本番は気持ちを持ち直し舞台に立つことができました。親の心配も吹き飛んでしまう程、楽しんで舞台に立ち感動したのを思い出します。

今年は当日体調があまり良くなく「お休みしてもいいよ」と言うと「発表会行く！」と涙目で訴えるので心配ながらも連れて行きました。会場に着くと、昨年の経験から「へっちゃら顔」。お友達に会い喜んでいました。舞台ではお友達をチラチラと見てはいましたが、得意のローラースルーでは自信満々の笑みで滑り「お友達と一緒に」という新たな気持ちが芽生え、1年の成長に喜んでいます。お友達みんな去年の発表会から大きく成長していて、わが子の事の様に嬉しくなりました。子どもの可能性は無限大なのだとまた希望が持てました。娘も堂々として小さな体で頑張っている姿を見て、一生懸命に練習し自信を持っているのだ、と胸が熱くなりました。

先生方の根気と熱い想いが伝わり、みんな頑張ることが出来ているのだと思います。先生方のこれまでのご指導に改めて感謝申し上げます。 幼稚園（年少・年長K）

## 各校レポート 発表会編

初めての発表会は、スケールの大きさと素晴らしい内容にとても感動しました。入学したばかりの頃は頼りなかった我が子が、こんなにも大きな舞台で堂々と踊り・立派に歌っている姿は忘れられません。

普段「芸術的な物はよくわからない。」と、あまり関心の無かった主人が「東小学校に通わせて本当に良かった！子どもたちの純粋で一生懸命な姿を見て心が洗われた！！そして、それを支えた先生方の指導力にも感動した！！！」と、鼻息も荒く話す姿を見て、私も改めて東学園の一員になれたことを嬉しく思いました。

低学年の可愛らしさはもちろん、高学年の優美な仕草、そして中学生になると大人顔負けの表現力。我が子もこのように成長していくのかしら？！と、これからがますます楽しみになりました。

あの会場の一体感！笑いあり、涙ありの発表会が毎年待ち遠しくなりそうです♪

そして、陰で支えてくださった先生方へも深く感謝いたします。感動ありがとうございました。

小学校（1年生. I）

今年のオープニングは、全国一位に輝いたダンス部の作品。日本一の躍動感に溢れる表現力に、私の感性はまず揺さぶられました！

我が家にとっては、今回が11回目、そして最後の発表会。各学年の渾身の演技に昔の我が子の姿を重ね、一年一年こんな風に成長してきたのだなど、とても感慨深かったです。発表会を通して、沢山のことを経験し学んだことは、子どもにとって大きな財産となり、これから的人生の活力となることでしょう。

「発表会は本物の舞台で」と立派な劇場の舞台に立てる貴重な機会を与えて下さった北原キヨ先生のお心に、そして、子どもたちをあたたかく支えて下さりご指導いただきました先生方、会場スタッフの皆様に深く感謝致します。

校長先生のお言葉に、「この発表会で、子どもたちそれが持つ豊かな感性、最近にぶつけてきた私達大人の感性が磨かれますように」とありました。どちらも、この一日で大いに磨かれたことでしょう。感動の一日でした！

中学校（2年生. KS）

## クリスマスライブ in スカラーホール

自閉症児が主役のロックバンド Out of Tune。100名ものお客様の温かい応援に支えられ、昨年12月スカラーホールで6回目のクリスマスライブを行いました。

発表会の舞台で泣いているだけだったり、逃げ出したりしていた子が、東学園で、音楽を楽しめるほどに成長させていただきました。それならと、家族と共にバンド活動を始めて6年。最近では、高専24期卒 黒澤（ドラム）、高田（ギター・ボーカル）、東中卒 宮島（シロフォン・パーカッション）、桑原（シンセサイザー）の自閉児だけの編成で、ほぼフォローなしの演奏も披露できるようになりました。メンバーの母が言いました。「障がいが重くても、頑張っていればいつか一緒に楽しめる日が来るって伝えたい…」と。

もし宜しければ Out of Tune のライブを、子供たちの頑張りを、一度観にいらして下さい！

（高等専修学校 OB 高田）

## OBクリスマス会

12月1日（土）卒業生150名、先生方41名、保護者51名、総勢242名で、むらさきOB会クリスマス会を開催しました。「OB会創立20周年記念」のイベントもあり、盛り沢山のクリスマス会でした。

舞台の上で先生と一緒にくじ引き、当たったプレゼントの中を見て一喜一憂し、ダブルくじ引き大会では、当たった方の名前を先生に読み上げて頂くなど、あっと言う間に楽しい時間が過ぎて行きました。ペコちゃんの袋とプレゼントをしっかりと持ち帰る卒業生の姿は、どこか可愛らしく、東っ子に戻った様でした！ むらさきOB会らしい、クリスマス会になりました。

（むらさきOB会 副代表幹事 秋葉奈津代）

## むらさき会新年会

1月19日（土）、むらさき会新年会が行われました。今年も約500名の参加者が、小学校体育館とサブアリーナを埋め尽くしました。最近は御夫婦での参加も多くなり、さらにパワーアップ！どのテーブルでも、先生方を囲んで盛り上がっていました。日頃とは違う先生方の一面が見られたのではないでしょうか。また、学年を越えた交流もあり、互いの子どもたちの成長を語り合う有意義な会となりました。皆さん笑顔で帰られる様子に、執行部もほっと胸を撫で下ろしました。

お忙しい中、準備から後片付けまでお手伝い頂きました先生方は、心より感謝申し上げます。

（むらさき会執行部 高2・高畠）



## 成人を祝う会

1年前位から高専23期生の親達の間では、子どもたちの成人式の事が話題になっていました。ちょうどその頃、学園より、高専で「成人を祝う会」を行ってはどうかとお話を頂きました。ただ、三つの条件がありました。1. 子どもたちのお小遣い程度の会費、2. 準備をして頂ける父兄の負担軽減、3. 長年続く会としての初年度の計画。条件は全て、学生等の健常児たちが参加出来易くする為のものであり、私達親への配慮でした。勿論、快諾し、早速、準備委員会を立ち上げ計画を立て、準備に取掛りました。

この会は決して、豪華とは言えませんが、参加した成人たちが、全員あいさつをしました。一人で今の状況を話す子。グループで話をする子、高専時代のバディーと一緒に挨拶する子、本当に和やかな、そして中には、びっくりする様な素敵なニュースまで飛び出すような会となりました。最後に、この様な会が開催出来ました事、本当に学園に感謝いたします。（むらさきOB会 代表幹事 佐竹）

